

1 12 訪日外国人旅行者が 4000万人を突破する

訪日外国人旅行者数は
年々増加してきたが、
新型コロナウイルスの感染拡大で暗雲が立ち込める。

日 本の国際交流が盛んになっていくともない、日本を訪れる外国人旅行者は次第に増えていき、

1997（平成8）年には初めて400万人を突破した。しかし、世界全体からみれば依然として低水準にあった。そこで政府は、訪日外国人旅行者の増加を促進し、経済効果の拡大を図るとともに、日本の良さを世界に知ってもらうため、ウエルカムプラン21（訪日観光交流倍増計画）を打ち出し、2005（平成17）年までに訪日外国人旅行者を700万人に増やすことを目標に掲げて動き出した。

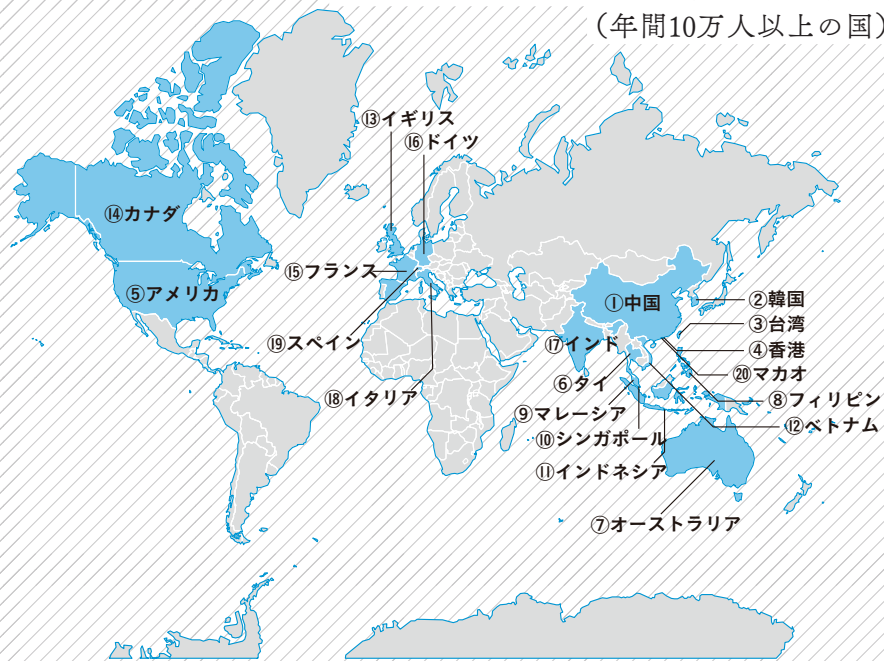
ウエルカムプラン21の事業を推進した結果、当初の目標には届かなかったものの、2005年には訪日外国人旅行者を673万人にまで押し上げた。その後も着実に増加していき、リーマンショックや新型インフルエンザの流行、東日本大震災などで減少したこともあったが、2013（平成25）年には1000万人の大台に乗った。10年間で2倍に増えたのである。それから5年後の2018年には、3119万人と3000万人の大台も突破した。わずか

年で3倍増という驚異的なペースで訪日外国人旅行者数は増加した。

政府が2014年に掲げた目標は、2020年までに訪日外国人旅行者数を2000万人に増やすということだった。ところが、4年も早く目標を達成したため、2020年までに訪日外国人旅行者数を4000万にするという方針に切り替え、さらに2030年には、日本の総人口の50%にあたる6000万人を目標に掲げた。このように、訪日外国人旅行者数はハイスピードで増加を続けている。しかし、2020年には世界中を恐怖に陥れた新型コロナウイルスの感染拡大で、この計画は大きく狂ってきた。

新型コロナウイルスが発生する前の地域別の内訳をみると、アジアが2675・8万人で圧倒的に多く、全体の約86%を占める。アジアの中でも、中国、韓国、台湾、香港の4カ国で73%を占めているというように、近隣諸国の貢献が大き

年々増加する訪日外国人旅行者数 (年間10万人以上の国)



訪日外国人旅行者数 (10万人以上)

順位	国名	人数(万人)
1	中国	838.0
2	韓国	753.9
3	台湾	475.7
4	香港	220.8
5	アメリカ	152.6
6	タイ	113.2
7	オーストラリア	55.2
8	フィリピン	50.4
9	マレーシア	46.8
10	シンガポール	43.7
11	インドネシア	39.7
12	ベトナム	38.9
13	イギリス	33.4
14	カナダ	33.1
15	フランス	30.5
16	ドイツ	21.5
17	インド	15.4
18	イタリア	15.0
19	スペイン	11.9
20	マカオ	10.9
総計		3119.2

(日本政府観光局 2018年)



訪日外国人旅行者数の
86%をアジアで占めている。

訪日外国人旅行者数の推移

年度	人数(万人)
1965	36.7
1970	85.4
1975	81.2
1980	131.7
1985	232.7
1990	323.6
1995	334.5
2000	475.7
2005	672.8
2010	861.1
2011	621.9
2012	835.8
2013	1036.4
2014	1341.3
2015	1973.7
2016	2404.0
2017	2869.1
2018	3119.2

(日本政府観光局)